

## 第 61 回全国社会教育研究大会（兵庫大会）参加報告

2019.12.18 新潟市社会教育委員会議

会場：神戸ポートピアホテル

【第 1 日目】10 月 23 日(水)

15:00～ 一般社団法人全国社会教育委員連合 理事会

17:00～ 都道府県・指定都市社会教育委員連絡協議会等事務局担当者会議【山本補佐参加】

【第 2 日目】10 月 24 日(木)

10:00～11:30 一般社団法人全国社会教育委員連合 総会【南館 B 1 「トパーズ」】

68 団体中出席 47 団体・委任状 20 団体（未提出 1 団体）：成立

第 1 号議案 第 62 回全国社会教育研究大会（新潟大会）令和 2 年 11 月 11 日～13 日

第 2 号議案 第 63 回全国社会教育研究大会（石川大会）令和 3 年 10 月 27 日～29 日

第 3 号議案 第 64 回全国社会教育研究大会の開催地区について：中国四国地区（広島県）

第 4 号議案 『社教情報』の値上げについて【3 月へ継続審議】

360 円を 500 円に値上げすることについて 3 月の総会で決定予定。

基礎資料として各地の購入方法アンケートを 4 月実施（回収率 72.1%）

県市の予算で委員全員分 7 団体、市町村任せ 30、委員任せ 12 など

値上げされても予算増額して委員全員分 5、市町村任せ 30、委員任せ 11 など

第 5 号議案 理事の退任・理事（補欠）の選任について【北九州市・大阪府】

報告事項 1. 助成事業決定：庄内地区教育委員会協議会社会教育部会の社会教育委員活動活性化セミナー（社教委員、教職員、地域コーディネーター等が一堂に会し「地域の子供は地域で育む～地域学校協働活動を支えるしくみづくりとは～」をテーマに講演会・WS）

2. 今後：第 4 回理事会・総会 2020 年 3 月 6 日（金） 新年度第 1 回 5 月 8 日（金）

12:15～12:40 アトラクション（県立高砂高校ジャズバンド部：「Swing Girls」モデル）

12:50～13:40 開会行事（表彰）

13:55～15:00 記念講演「わかりあえないことから～多文化共生を目指す演劇教育～」

劇作家・演出家 平田オリザ

・旅行ですか（自分から話しかける人は、日本人の 1 割（除大阪）。アイルランド人は 100%自分から。イタリア人は女性には。イギリス上流階級教育を受けていれば自分からは話しかけない）

・銀のサモワール（チェーホフ）でお茶を入れる、演技のために調べる努力

・靴をそろえる／そろえない 近い文化だからゆえの摩擦（韓国人が見たら「そんなに早く帰りたいのか」。靴を脱がない文化の人が脱ぎ散らかしても腹立ちしない）

・コンテキストの違い（劇作家と発話者がいかに近づけていくか）

・シンパシーからエンパシーへ（同情から共感へ・同一性から共有性へ）

・大学入試改革（基礎的・基本的な知識・技能。思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性→3

つ目を測る試験。新しい学びの共同体：「何を学ぶか？」から「誰と学ぶか？」。多様性を確保する入試：もともと大学改革の進んだ東工大では8割男子・7割関東・6割中高一貫校問題。受験準備のできない問題を作ることが難しい→受験準備・進路指導ができなくなる→1, 2年の受験勉強では対応できない⇒身体的文化資本：センス、マナー、コミュニケーション能力、美的感覚、感性、味覚（ピエール・ブルデュー）+人種・性差等への偏見の有無）社会教育によって身体的文化資本を蓄積しなければ、大学入試改革が地域格差を拡大させる。

・文化による社会包摂 **social inclusion** 人間を孤立させない。地縁血縁型社会の崩壊や長期化する不況によって、孤立しがちな人間を、文化活動などにより社会にもう一度包摂していく。生活保護・雇用保険・高齢者医療費：事後分配（格差を解消するための分配）ではなく、学校教育・社会教育・文化政策：事前分配（格差や孤立を防ぐための分配）。事前分配は結果的に行政のコストを軽減し、社会のリスクも慧眼する。

15:10~16:40 シンポジウム 時代潮流の変化の中で多様な地域特性を活かし、高め合う社会教育」コーディネーター 朴木佳緒留（県社教委員・神大名誉教授）

シンポジスト 今西幸蔵（県社教委員・桃山学院大客員教授）・フローリア日詰（英語塾経営者・25年前新嘉坡から来日）・波多江みゆき（伊丹市社教委員（社会教育施設のネットワークを提言予定）・NPOらしーく：あなたらしくを支援）・御船海（ブレインヒューマニティ副理事長）・駒井まゆ（同職員。学習支援・キャンプなど。学生スタッフ600人）

16:40~17:00 閉会行事 次年度全国社会教育研究大会担当県（新潟県）によるPR  
次年度全国公民館研究大会担当県（岩手県）によるPR

【第3日目】10月25日(金)

9:30~12:00 分科会

研究主題「多様性を認め合う、豊かな地域社会のための社会教育の実践」に基づき、それぞれの地域の特性や実態に応じた多様な考え方や取組に触れる中で、地域課題の解決や今後求められる社会教育の実践につながる具体的なアイデアを出し合う機会とする。

おおよその日程 930~開会・日程説明 935~趣旨説明 940~事例発表(問題提起) 1000~質疑・助言等 1015~グループ討議 1115~休憩 1125~全体共有 1145~助言・閉会

第1：子どもたちの成長を支える学校・地域の連携協働の実践【雲尾参加】

参加者 254名・6人組43G（30G北見市・長浜市・宮津市・川西市・邑南町）

高島市事例発表：学校・地域がともに未来を担う子どもたちの成長を支え、地域の活性化を図る～双方向の連携・協働をめざして～

第2：地域がつなぐ子育て・家庭教育支援の推進【山本補佐参加】

第3：人口減少時代に対応する魅力ある地域づくりの実現

第4：人生100年時代を踏まえた生涯学習の推進

第5：地域の暮らしを守る安全・安心なまちづくり

以上 雲尾周（新潟市社会教育委員会会議議長）